

平成24年1月16日

No. 12-007

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

第50回愛媛マラソンの経済効果は約3億円！！

～過去最高となる約7,000人のランナーが伊予路を駆ける～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 IRC、社長 山崎 正人）は、2月5日に開催される「第50回愛媛マラソン」の県内における経済効果を算出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

○推計結果

「第50回愛媛マラソン」の経済効果は、2億9,227万円となりました。これは、主催者事業費の3.20倍の効果です。

＜経済効果＞

	経済効果			事業費に対する 経済効果	エントリー 人数
		直接効果	間接効果		
今回 (第 50 回)	2億 9,227 万円	1億 9,508 万円	9,719 万円	3.20 倍	7,828 人
前回 (第 49 回)	2 億 596 万円	1億 3,743 万円	6,853 万円	2.89 倍	5,574 人

※今回・前回ともに、大会実施前の推計値です。

※当日の出走キャンセルを見越して、定員（今回7,000人）を上回るエントリー人数となっています。

※直接効果…主催者事業費＋選手・観客による消費額

（県外からの財やサービスの調達が見込まれる分は除く）

※間接効果…直接効果によって県内の各産業にもたらされる生産誘発額＋選手・観客による消費の増加や生産誘発によって生じる雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額

○推計方法

・主催者事業費と参加選手・観客の消費額をもとに、「平成17年愛媛県産業連関表」を用いて経済効果を算出しました。

・主催者事業費は、事務局資料より約9,100万円としました。

・参加（エントリー）選手は7,828人（うち愛媛県内の選手が6,781人）とし、当日の観客は、沿道とスタート・ゴール会場を合わせて約18万人と推計しました。

・参加選手・観客の消費額は、交通費・宿泊費・観光費に加え、ウェアなどの用品・用具類等の消費額で合計約2億7,000万円と推計しました。

以上